

児玉郡市広域市町村圏組合



令和5年度

児玉郡市広域市町村圏組合職員採用試験受験案内用

★ 圏域の概要

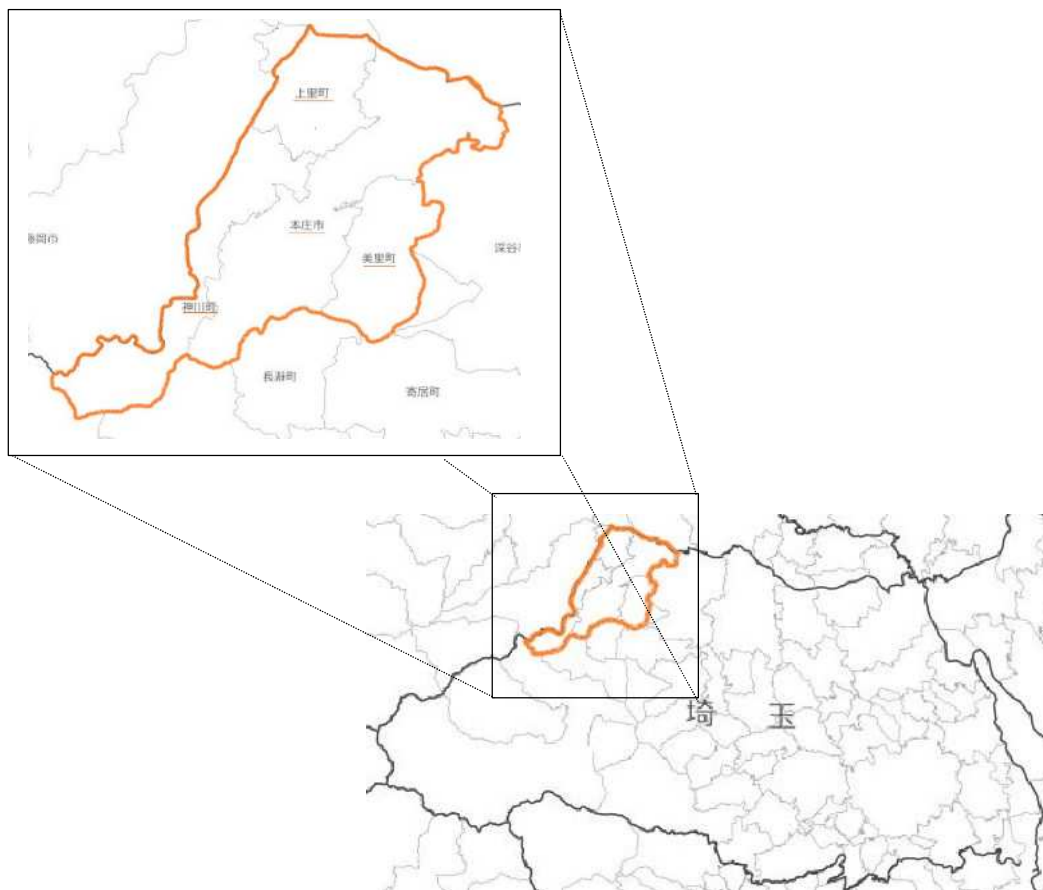
本圏域は、本庄市・美里町・神川町・上里町の1市3町によって構成され、埼玉県北西部、東京都心より約75km～85km圏に位置し、東は熊谷市、深谷市を中心とする大里地域、南は秩父地域、北西部は利根川、烏川、神流川を挟んで群馬県と接しています。利根川沿いに広がる平野部と秩父山系に連なる丘陵地や山地からなり、貴重な自然と景観を有しています。

総面積は約199.68km²で、人口は約13万2千人を擁し、交通網ではJR高崎線、八高線、国道17号、254号、462号に加えて関越自動車道が通り、利便性の高い立地特性をもっています。

★ 人口 131,981人
★ 世帯数 59,890世帯

(令和5年4月1日 住民基本台帳による)

市町村名	面積 (km ²)	人口 (人)	世帯数
本 庄 市	89.69	77,473	36,043
美 里 町	33.41	10,891	4,556
神 川 町	47.40	13,083	5,908
上 里 町	29.18	30,534	13,383
計	199.68	131,981	59,890



★ 組合の沿革

年 月	内 容
昭和45年 7月	児玉郡市広域市町村圏指定
昭和45年 9月	児玉郡市広域市町村圏協議会発足
昭和46年 3月	児玉郡市広域市町村圏計画策定
昭和46年 4月	児玉郡市広域市町村圏組合認可
昭和46年 7月	児玉郡市広域市町村圏組合業務開始
昭和47年 11月	児玉郡市広域総合センター供用開始
昭和48年 3月	児玉郡市広域市町村圏協議会廃止 児玉郡市広域消防本部発足
昭和48年 4月	職員研修事業開始
昭和48年 5月	し尿処理施設「衛生センター」操業
昭和48年 9月	養護老人ホーム「寿楽園」開園
昭和49年 7月	ごみ処理施設「清掃センター」操業
昭和49年 11月	老人福祉センター「やすらぎ荘」開所
昭和51年 3月	広域市町村圏振興整備構想研究報告
昭和55年 4月	消防指令センター業務開始 破砕処理施設「破砕処理工場」操業
昭和56年 3月	児玉郡市新広域市町村圏計画策定
昭和57年 6月	視聴覚ライブラリー開始
昭和57年 12月	斎場「こだま聖苑」操業
昭和61年 3月	児玉郡市新広域市町村圏計画後期基本計画策定
平成 2年 4月	し尿処理施設(新施設)「利根グリーンセンター」操業
平成 3年 3月	第2次児玉郡市新広域市町村圏計画策定
平成 6年 5月	神泉一般廃棄物最終処分場供用開始
平成 7年 11月	栗崎一般廃棄物最終処分場供用開始
平成 8年 3月	第2次児玉郡市新広域市町村圏計画後期基本計画策定
平成10年 5月	美里一般廃棄物最終処分場供用開始
平成11年 12月	ごみ処理施設「清掃センター」閉鎖 破砕処理施設「破砕処理工場」閉鎖 老人福祉センター「やすらぎ荘」閉所
平成12年 4月	ごみ処理施設(新施設)「小山川クリーンセンター」操業
平成12年 5月	余熱利用施設「湯かっこ」開所
平成13年 3月	第3次児玉郡市新広域市町村圏計画策定
平成14年 10月	美里一般廃棄物最終処分場第二期分供用開始
平成18年 6月	組合構成市町変更(1市3町)
平成19年 4月	斎場「こだま聖苑」指定管理者制度移行
平成20年 4月	余熱利用施設「湯かっこ」指定管理者制度移行
平成21年 12月	児玉郡市新広域市町村圏計画廃止
平成24年 3月	養護老人ホーム「寿楽園」閉園 視聴覚ライブラリー廃止
平成27年 4月	児玉郡市広域消防本部・中央消防署新庁舎業務開始 本庄消防署を本庄分署に変更、本庄南分署を廃止
平成27年 9月	児玉郡市広域市町村圏組合事務所を小山川クリーンセンターに移転 児玉郡市広域総合センター閉所
平成29年 6月	児玉分署新庁舎業務開始(施設の移転)
平成30年 5月	本庄分署新庁舎業務開始(施設の移転)

★事業紹介

○ごみ処理施設 小山川クリーンセンター



小山川クリーンセンターは、安全かつ効率的なごみ処理を行うために、ごみ焼却施設、粗大・資源ごみ処理施設を備え、周辺環境やダイオキシン類をはじめとする公害防止に万全を期した総合的な廃棄物処理施設となっています。

また、廃棄物循環型社会へ対応するため、ごみの焼却によって発生する熱を利用して発電を行い施設内の電力を賄う一方、隣接する余熱利用施設「湯かっこ」へも熱を供給しています。粗大・資源ごみ処理施設では、鉄・アルミなど、資源の回収に努めています。

○し尿処理施設 利根グリーンセンター



利根グリーンセンターは、下水道の普及している地域以外のし尿及び浄化槽汚泥を処理する施設です。標準脱窒素処理方式を採用した処理施設で、最高の技術と最良の方法を結集したものです。

特に、公害防止対策には意を注ぎ、排ガス、騒音、振動、悪臭はもちろん水質確保のため、高度処理方式を採用した施設でもあります。

○斎場 こだま聖苑



斎場（こだま聖苑）は、従来の火葬場という雰囲気を取り除き利用しやすい施設、また故人を偲び心の安静を願う場としての施設です。

特に火葬施設につきましては、無煙無臭の性能を備えており、また住宅事情等で自宅での葬儀等が困難な場合を考慮し、式場も併設しています。

○余熱利用施設 湯かっこ



湯かっこは、小山川クリーンセンターのごみの焼却による余熱を有効利用したプール施設、温浴施設です。「交流の場」・「憩いの場」・「健康づくりの場」として出会い・健康・リラックスをサポートします。

子どもからお年寄りの方まで世代間を越えた、どなたにもやさしくふれあいの施設です。

愛称「湯かっこ」とは…

公募によって決定。所在地名「五十子(いかっこ)」と温浴施設等のお湯にちなんだもので、呼びやすく、多くの皆様に親しんでいただきたいという思いを込めた愛称です。

○児玉郡市広域消防本部



児玉郡市広域消防本部は、昭和48年3月に発足し、年々整備拡充され、現在、総務課、予防課、警防課、指令課及び1署6分署から構成されています。

火事や事故の災害を未然に防ぐとともに万一災害が発生したときは被害を最小限に食い止めるため、消火、救急及び救助業務等24時間体制で日夜活動しています。

児玉郡市広域市町村圏組合組織図

(令和5年4月1日現在)

